

まちのニュース

町内の話題をお届けします

あまーい味覚を召し上げられ

大網高校産メロンが給食に登場



▲メロンを収穫する大網高校生徒

しいメロンを味わってもらおうと、毎年、給食に提供。1本の苗に1個しか実がならないという繊細なマスクメロンを、手塩に掛けて育てています。今年は天候にも恵まれ、順調に育った、大ぶりのメロンが、高校生たちの手で丁寧に収穫され、小中学校に届けられました。

6月29日には、増穂小学校の給食の1品として登場。「今日のメロンは、大網高校のお兄さん、お姉さんが、わたしたちのために心を込めて育ててくれた甘くておいしいメロンです。感謝しながら、残さず食べましょう」と校内放送でメロンの説明がされました。

大網高校の生徒が丹精込めて育てたメロンが、小中学校の給食のデザートとして登場しました。大網高校では、児童・生徒に、地元でとれた甘くておいしい、おいしい」と季節の味を十分に楽しんでいました。

いざというときの備え

体育指導委員の普通救命講習



地域の住民にスポーツに関する指導や助言を行っている町体育指導委員など22人が、6月18日、大網白里アリーナで普通救命講習を開催しました。

講習会は、いざというときに、落ち着いて的確に人命救助ができるようにと、毎年行われています。

講師に南消防署の救急救命士を招き、町女性消防団員の協力のもと、AED(自動体外式除細動器)を使った心肺蘇生法を学習。参加者は、実技訓練などを行いながら、救命処置の技術に磨きをかけました。

▲女性消防団員から実技指導を受ける参加者

甘い話にご用心

消費生活講演会



▲悪質商法の手口をわかりやすく話す住田裕子氏

増加する悪質商法や詐欺などの被害を防ごうと、6月18日、弁護士住田裕子氏を招いた「消費生活講演会」が、保健文化センターで開催されました。

住田氏は最近の悪質商法や振り込め詐欺の手口を、実際にあった事例をもとにわかりやすく解説。「悪質商法撃退マニュアル」を見ながら、対策を話しました。

途中、出演中のテレビ番組の話や、実際にあった事例の再現で会場から笑い声を誘う場面も。最後に住田氏は、「甘い話には注意が必要。商品や悪質商法の手口の情報交換や勉強会を開くなど、今こそ近所で協力して備えてほしい」と締めくくり、対策を呼び掛けました。

観光客に喜ばれる海に

町建設業協会が海岸清掃



▲海岸清掃に汗を流す町建設業協会

海水浴シーズン本番を前に、町建設業協会が中心となった「海岸防災施設の点検および海岸清掃」が、6月24日に白里海岸で行われました。

地域の貢献活動として、この時期の恒例となっている海岸清掃に、会員など140人が参加。作業前に、内山弘通会長は、「来遊客の皆さんが、白里海岸に来てよかったと思ってもらえるように、きれいにしていただきたい」と意気込みを語りました。

会員は、砂浜や駐車場のごみ拾いを行ったあと、重機を使い、アンダーパスや防潮扉付近に溜まった砂の運び出しや、道路周辺の草刈りをして、観光客を迎えるための準備に汗を流しました。

ドッキリワクワクおはなし会

大網小学校「夏のおはなし会」



▲お話に聞き入る児童

大網小学校の保護者等で構成されるおはなしボランティア「マザーグース」が、恒例の「夏のおはなし会」を7月6日、大網小学校の体育館で開きました。

マザーグースのメンバーは、ロング昼休みに集まった全校児童を前に、「あいさつ団長」、「ぶたのたね」、「ばけものでら」の3作品を上演。

本の絵を大きなスクリーンに映し、臨場感あふれる朗読と手作りの効果音で児童を魅了しました。集まった児童は、前のめりになって、お話に聞き入っていました。